

## 第6回ひらつか男女共同参画推進協議会 会議録

令和6年12月20日（金）9時30分～10時40分  
平塚市庁舎本館2階 218会議室

**出席委員** 6人（辻委員、長谷川（進）委員、中津川委員、大津委員、松尾委員、長谷川（あ）委員）

**欠席委員** 2人（竹谷委員、今井委員）

**主催者** 4人（武井人権・男女共同参画課長、榮谷担当長、平出主管、加納主査）

### 1 開 会

- （1）委嘱式
- （2）委員自己紹介
- （3）会議の公開について

### 2 第6回ひらつか男女共同参画推進協議会（議事進行：会長及び副会長）

（事務局）ここから、議事進行は会長に変わりますが、到着が遅れているため、代わりに副会長に議事進行をお願いいたします。

（副会長）第6回ひらつか男女共同参画推進協議会の議題に入ります。

#### 議題1 令和6年度イクボスプロジェクトの実施報告について

（副会長）それでは、議題1「令和6年度イクボスプロジェクトの実施報告について」、事務局から説明をお願いします。

（事務局）改めて、当プロジェクトの開催趣旨を説明します。ジェンダー平等社会の実現に向け、誰もが活躍できる働き方を考えるきっかけとなり、事業所での働き方の見直し、管理職及び従業員のワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組めるようになることや、男性育休制度をはじめとした「イクボス」として必要な知識を深めることを目的に実施する事業です。事業所にイクボスを増やすことで誰もが働きやすい職場環境づくりが推進されるよう、「イクボス」の考え方や、取組を広く周知するため、今年度はパネル展と講演会を開催しました。

まずは、パネル展について説明しますので、プロジェクターで投影しているスライドをご覧ください。実施期間は令和6年9月10日（火）から18日（水）で、ららぽーと湘南平塚1階スタンダードプロダクツ前で行いました。なお、12日（木）は当施設の休館日のため休止でした。市内の大型商業施設でイクボス宣言登録企業を紹介するパネル展は初めての開催でした。続いて、パネル展の内容ですが、イクボス宣言登録企業の紹介、企業一覧表、所在地マップ、制度の説明、プロジェクトの説明及び市のワーク・ライフ・バランス推進に関する取組紹介についてパネルを展示し

ました。

なお、イクボス宣言登録企業の紹介パネルですが、平塚市では令和6年9月2日時点で、52社をイクボス宣言企業として登録しておりまして、その52社を一覧表にして紹介しました。そのうちパネル展への参加にご協力いただいた16社については、企業ごとの個別紹介パネルを作成して、ワーク・ライフ・バランスの取り組み等を紹介しました。この紹介パネルは、企業の皆さまが参加しやすいように予めこちらでフォーマットを作成し、代表者からひとこと、また会社のPRを書いていただきました。

前回の協議会でいただいた意見を参考に、展示パネルについて様々な工夫をしました。「パネル展がより魅力的に見える様に装飾についてもよく検討してほしい。」とのご意見がありましたので、平塚市イクボス宣言登録企業ロゴマークを活用し、パネル自体に装飾を行い、明るさを演出しました。なお、このロゴマークについても、説明パネルを作成しました。また、企業紹介パネルでは業種がわかるようイラスト等を使用しました。また、企業名は、目立つようにラミネート加工して、立体的に見えるようにしました。さらに、「記者への投げ込み、いわゆる記者発表をすることで事業を広く周知できるのではないか。」とのご意見に対し、令和6年9月4日（水）に記者への投げ込みを行い、9月11日（水）に神奈川新聞から取材を受け、9月13日（金）に記事が掲載されました。また、「パネル展をご覧になった方からの意見・感想を二次元コードでアンケートサイトにアクセスしていただけたらどうか。」とのご意見に対し、二次元コードから意見・感想等を回収できるように対応しました。

続いて、アンケート結果の報告をします。資料1をご覧ください。アンケートは6名の方に回答していただきました。まず、イクボスという言葉の理解度ですが、100%の方が「知っていた（意味も知っていた）」と回答され、次に平塚市のイクボスの取組への理解度についても、「よく理解できた」、「まあ理解できた」を合わせると100%の方が理解できたと回答されました。またパネルの内容については、「良かった」、「どちらかという良かった」を合わせて8割以上が良かったと回答され、その理由については、「色々な企業が社員のことを考えた取り組みをしているのがよく分かった。」、「たくさんの会社が載っていて分かりやすかった」といった意見をいただきました。また、「どちらともいえない」と回答した方は、「趣旨が分かりにくい」といった意見をいただきました。

来年度に向けてですが、今後もこのパネル展を継続していきたいと考えております。実施時期につきましては、会場の都合もありますが、相乗効果を考えますと、講演会と同じ時期を考えております。また、より多くの登録企業に参加していただくための良いアイデアがございましたら、ぜひご提案いただければと思います。よろしくお願いいたします。

続きまして、講演会について説明いたします。資料2をお手元にお出しください。

実施期間は令和6年11月8日（金）9時から12月6日（金）17時までの約1か月間です。あらかじめ収録した動画をYouTube上にアップし、事前に申し込みいただいた方に対して限定配信

いたしました。

慢性化する人材不足のなかで、様々な背景を持つ社員が継続して働くことのできる職場環境を整備することは、企業の持続的な成長には必須の取組とされています。育児や介護を理由とした離職を減らすために、これからの企業に求められる取組を当事者目線で考え、中小企業でも実践できる具体の取組や県内・市内の中小企業の好事例を交えながら、わかりやすくお伝えするため、講演会のテーマを「仕事と育児・介護の両立支援」として前回の協議会で委員の皆さまにご報告させていただいたところです。

講師はセントワークス株式会社、ワーク・ライフバランスコンサルタントの一之瀬幸生氏に務めていただきました。講演の内容ですが、仕事と育児・介護の両立の必要性、多様な人材活躍が求められる背景、育児・介護休業法の改正内容、男性育休の理解について講師ご自身の体験談も交えて、男性育休のメリットについてお話いただきました。また、男性育休を取得しやすい、仕事と介護を両立しやすい職場づくりに向けたチームマネジメントについて、スキルマップを作成し育成計画を立てるなどの方法や、仕事と家庭の両立推進企業の取組をご紹介いただき、仕事と育児・介護の両立支援に向けたアドバイスをいただきました。そのほか、最初の導入時に事前に実施したイクボス宣言登録企業へのアンケートの回答結果についてご紹介いただくとともに、講演最後にはイクボス宣言企業登録制度のご案内と今回のプロジェクト実施にご賛同いただいたイクボス宣言登録企業のお名前をスライドで紹介する、といった内容で作成・編集いたしました。

なお、最終的な申込者数は65名で、視聴回数は138回でした。

続きまして、アンケート結果ですが、アンケートは14名の方に回答をいただきました。講演の内容について、9割以上が「参考になった」と回答され、どのような点が参考になったかについては、「男性育休を取得することは、取得者の経験値アップにつながり、職場としても人材育成や研修にも通じるものがあり企業の成長につながること」、「介護休業をとったときの1日の流れなどについて理解できた」、「イクボス推進のためには、管理職として職員の育児や介護負担等の状況について、把握していく必要を再認識した。講師自ら第2子の育児について、家庭内だけでなく、職場としてのメリットを語られていたが、特別なことではない。介護を含めると、多くの職員にも起こりうる可能性がある。日ごろから、職場内での会話に育児や介護のことが話せる雰囲気づくりも大事ではないかと感じた」といった肯定的な感想をいただきました。また、「参考にならなかった」と回答した方は、「男性の育児休暇のセミナーは取得の必要性や意義の説明ばかりで、中小企業の事務レベルの進め方や処理方法、各種申請方法が説明されるものが皆無である」とあり、より実務に沿った内容を望まれているようでした。

2ページに入りまして、男性育休や仕事と介護の両立支援の理解度については、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせると、9割以上が理解できたと回答されていました。

また、講師への疑問・質問では大きく2点、従業員アンケートの具体的な内容と、両立支援金などの申請方法についてでした。

今後どのようなテーマの講演会に参加したいか伺ったところ、最も多かった回答は「ワーク・ライフ・バランスの実現」、その次が「働き方改革につながるＩＣＴ活用」、「仕事と介護の両立支援」、「職場におけるハラスメント対策」と続いています。その他の回答では、「従業員の育児休暇時の事務処理や給与計算の仕方」等といった、より実務に沿った内容といったものがありました。

次に開催方法について、どの実施形態だと参加しやすいかですが、最も多かった回答は録画配信による講演会でした。

最後に講演動画を視聴してイクボス宣言をしてみよう、登録制度に参加してみようと思ったかどうかについては、９割以上がすでに登録済みでした。ただ、この講演会中に１社、さらに講演会終了後、３社からイクボス企業への登録について申請がありました。うち２社は手続き中のため、まだ市ホームページ等で公開していません。今回の取組を通じてイクボスプロジェクトを推進できたのではないかと考えています。

来年度に向けてですが、まず実施方法について、アンケート結果からも録画配信による講演会の希望が多かったため、録画配信での実施を検討したいと考えています。

講演会のテーマについては、先ほどのアンケート結果では「ワーク・ライフ・バランスの実現」や「働き方改革につながるＩＣＴ活用」などが上位に挙がりましたが、何か委員の皆さまで良いアイデアがございましたら、ぜひご提案いただければと存じます。よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

**(事務局)** ここで、会長が到着されましたので、議事進行を副会長から会長に交代します。

**(会長)** 意見や質問などがありましたらお願いします。

**(委員)** パネル展について、アンケートの回答件数が６件というのは少ない印象があります。以前、事務局で作成されたイクボスの付箋を配布するなど、工夫すればもう少し回答件数が増えるのではないのでしょうか。また、花火大会など市が主催するイベントをＰＲする機会と捉えて活用すれば、より充実した啓発ができると思われます。

**(委員)** パネル展に参加した企業は１６社にとどまりましたが、参加した企業のみならず、全てのイクボス登録企業に対して、実施報告をするのはいかがでしょうか。報告書を見ることによって、次回は参加してみようと思ってくれるかもしれません。また、装飾について、とても工夫されておりますが、イクボスのロゴマークをもっと大きく掲示すれば、より興味を引くパネル展になると思われます。また、イクボスプレスにパネル展の様子を掲載するのも面白いと思います。

また、イクボス宣言登録企業制度について、制度の見直しを行う機会があれば、通年で申込みが行えるのではなく、年度ごとに申込期間を設けてはいかがでしょうか。その方が、話題性があり報道機関の方に取材してもらえと思われます。

**(委員)** 講演会の周知はどのように行ったのでしょうか。

**(事務局)** 広報ひらつか、市の公式ＬＩＮＥ、そして産業振興課が発行している「ひらつか労働ニュース」にも掲載していただきました。

(委員) オンラインでの開催は、時間や場所に縛られずに視聴できるので今後もこの開催方法が望ましいと思われます。また、講師の方の話は分かりやすく良かったのですが、一企業の現場で働く従業員の方にお話ししていただければ、より具体的な話が聴けるかもしれないので検討していただければと思います。

(委員) 講演会後に、新たに登録企業が数社あるなど、成果があったと思われます。また、今月、平塚市と(株)リクルートが「雇用促進に関する連携協定」を締結しました。その連携事業で「Web求人サポートセミナー」の取組がなされるが、例えばイクボス登録企業のWeb求人に、イクボス企業であることをPRすれば多くの就労者が興味を持ってくれるし、制度自体のPRもできるなど相乗効果が期待できます。

(委員) アンケートにおいて、「参考にならなかった」と回答された件数が1件ありますが、その理由が具体的に書かれているので、次回に向けて参考にいただければと思います。

(委員) イクボス宣言登録企業になるためには、抜本的な改革が必要になるなど、高いハードルがあると捉えている企業もあるのではないのでしょうか。引き続き、効果的な啓発方法について検討していただければと思います。

(委員) 「イクボス宣言書」を自由記載にしていることがハードルを高くしている要因の一つと思われます。何を書けばいいのか分からない企業もあると思うので、チェックシート形式と自由記載の併用など検討していただければと思います。

(事務局) 講演会の講師について、一企業の現場で働く従業員の方はどうかという旨の意見をいただきましたので、具体的な調整をする際は、適任者の紹介などご協力していただければと思います。

(事務局) パネル展について、登録企業52社に参加を呼びかけましたが、参加されたのは16社にとどまりました。もっと企業の方が気軽に参加できるような呼びかけ方法など、企業側の立場からアドバイスを頂ければと思います。

(委員) 登録企業同士の交流会などを開催して、企業同士で仲間意識を持ていただくことも、参加を前向きに考える効果があると思います。

(委員) 今回のパネル展は大型商業施設で開催されましたが、商業施設の客層とは異なる客層を狙うのも効果的と思われます。例えば、商工会議所主催の「ひらつか産業FES」では、各企業がブースを設けて企業のPRを行っています。著名人をお招きするなど毎回盛り上がりを見せております。

## 議題2 プラン2017における評価(確定)について

(会長) それでは、議題2「プラン2017における評価(確定)について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 今年5月に開催した第4回協議会において、ご意見をいただいたプラン2017の評価について、市役所の課長級職員で構成されている「平塚市男女共同参画推進会議」及び、部長級職員で構成されている「平塚市男女共同参画管理会議」を経て確定しましたので報告します。資料3をご

覧ください。平塚市男女共同参画推進会議にて、7件の意見があり、そのうち4件については、記載のとおり修正しました。修正後の評価は、資料4，5のとおりです。説明は以上です。

### **議題3 プラン2024における事業計画管理票について**

**(会長)** それでは、議題3「プラン2024における事業計画管理票について」、事務局から説明をお願いします。

**(事務局)** 今年度からスタートしたプラン2024における事業計画管理票について、様式を修正しましたので報告します。まず、進捗状況の管理をより着実に図るため、「次年度への対応」を記載していただくこととしました。次に、実績評価の理由及び達成評価の理由については、割愛することとしました。説明は以上です。

## **3 事務連絡**

## **4 開会**

**(事務局)** それでは、以上をもちまして、第6回ひらつか男女共同参画推進協議会を閉会いたします。  
長時間ありがとうございました。

以 上